ストリッピングバッファー （Code No.BW-6010）

取扱説明書

【目的・用途】

ストリッピングバッファーを用い、メンブレンから一次抗体及び二次抗体を取り除きます。ストリッピング後のメンブレンはリプロービングが可能であり、抗体濃度や抗体の種類を変更して、数回のシグナル検出を行うことが出来ます。

※注
発色基質を用いた検出にはご使用いただけません。

【特徴】

1） 抗原への影響が少ない、マイルドなストリッピング

2） 1 液で使用可能な ready to use タイプ

3） メルカプトエタノール不含

4） 室温での操作が可能

【キット内容・保存方法】

内容	容量	開封後の保存方法
ストリッピングバッファー	1L （約 25 回分）	室温

その他必要な試薬

・TBS(1×) （BW-1011 TBS(20x)をご使用いただけます）
・TBS-T

【使用期限】

上記保存方法にて 3 ヶ月

【基本プロトコール】

1度目の検出終了後、メンブレンが乾かないように十分ご注意ください。

① ストリッピング＜5～10 分間×2 回＞
メンブレンをストリッピングバッファー(約 20mL)に浸し、室温で 5～10 分間振とうします。その後バッファーを新しいものに交換し、再度室温で 5～10 分間振とうします。

② Wash＜10 分間×2 回＞
メンブレンを十分量の TBS に浸し、室温で 10 分間×2 回振とうします。抗体反応に影響を及ぼす為、ストリッピングバッファーを完全に除去してください。

③ Wash＜5 分間×2 回＞
メンブレンを十分量の TBS-T に浸し、室温で 5 分間×2 回振とうします。

上記の操作の後、通常通りブロッキング→一次抗体反応→二次抗体反応を行い、2度目以降の検出を行ってください。2度目以降の検出では、1度目よりもバックグラウンドが高くなることがあります。

※ 溶液は白濁しておりますが、問題なくご使用いただけます。

トラブルシューティング

トラブル	原因と対策
ストリッピング出来ない	抗原・抗体の相互作用が強い。反応温度を室温から 37℃または 60℃に上げて行い、反応時間を延ばしてください。
	液量が少ない。メンブレンが十分に浸る量のバッファーを用いてください。
2 回目の検出におけるバックグラウンドが高い。	ストリッピング後のブロッキング条件が不適切。ブロッキング時間や温度等、ブロッキング条件を最適化してください。
	抗体濃度が高すぎる。再度ストリッピングを行い、抗体濃度を希釈してリプローブしてください。
シグナルが低いまたは無い	抗原が失われたまたは少ない。新しくブロットを行い、先に抗原の少ない方から検出してください。
	タンパクまたは抗体濃度が低い。より多くのタンパクをゲルにロードしてください。また、抗体濃度を増やしてください。

関連商品

◎ SDS-PAGE 用分子量マーカー「XL-Ladder シリーズ」
プレステインタイプはブロッティング後メンブレンでのバンド確認にも最適です。
未着色タイプは His タグを付加しているので、抗 His 抗体使用時のポジコンに使えます。

Code No.	品名	内容
SP-2140	3-color Prestained XL-Ladder	3 色着色タイプ ： 50 レーン分
SP-2110	XL-Ladder Broad	未着色タイプ ： 100 レーン分

◎ ウェスタンブロット関連試薬

Code No.	品名	内容
BW-1010	PBS(20x)	500ml
BW-1011	TBS(20x)	500ml
BW-2030	XL-ECL for Western	50ml
BW-3031	XL-ECL for Western	250ml
BW-3100	XL-SAP Kit for Western	50 回分
BW-3110	XL-Enhancer L セット	Solution1st、Solution2nd 各 250ml

その他各種プレキャストゲル、高速電気泳動槽等ご用意しております！
詳しくはアプロサイエンス ホームページをご覧ください。
⇒ http://aproscience.com/

株式会社アプロサイエンス
〒771-0360 徳島県鳴門市瀬戸町明神字板屋島124-4
http://aproscience.com/
info@aprosci.com
Tel.088-683-7211 Fax.088-683-7212